

富山県立大学 来年4月開学

富山県の三大プロジェクトの一つとして着々と準備が進められている県立大学。創造性を育む文化性豊かなキャンパスを有する科学技術の新たな拠点として、来年四月に小杉町で開学します。今回は、県民の熱い期待にこたえて生まれようとしている富山県立大学について、その内容・特色を紹介します。

富山県立大学は、「機械」「電子」「情報」「材料」の四分野について学際的に教育研究を行う工学部と県立技術短期大学を再編し地域に密着した実践力のある中堅技術者を養成する短期大学部で構成します。公立としては日本海側初の工学部を持つ大学であり、科学技術の新たな拠点として、日本的、世界的な視野から学術の発展、人材の養成に貢献します。



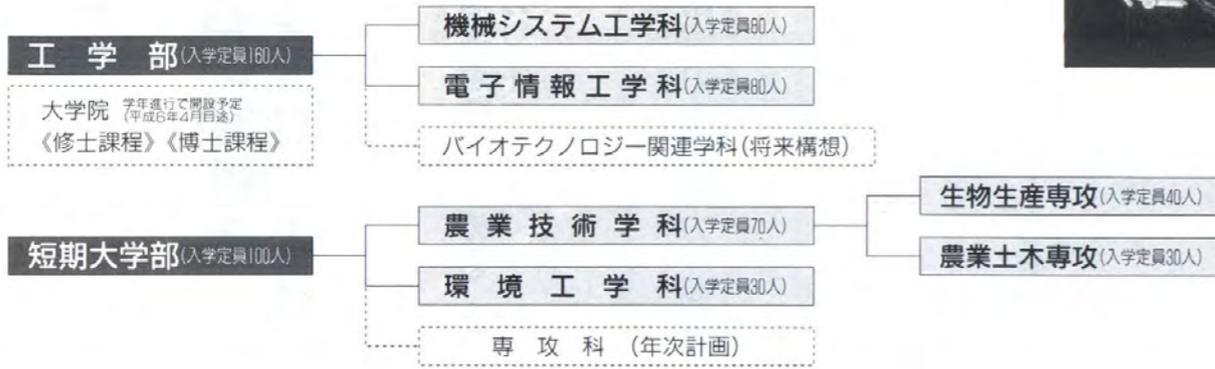
また、地域振興の原動力としての役割を担い、二十一世紀における富山県の飛躍的発展に寄与することをねらいとしています。

21世紀へ... 科学技術の新たな拠点



工学部

〈学部・学科構成〉



機械システム工学科 (入学定員 80人)

メカトロニクスや情報システムに強い高度な機械技術者を

自動化、知能化といった「システムとしての機械」を対象に、次の専門分野の教育研究を行います。機械工学の基礎である力学とその応用について学ぶ〈応用力学系〉

機械システムを発展させるためのコンピュータ利用を学ぶ〈機械情報系〉
機械システムの高度化に重要な鍵となる材料と加工技術を学ぶ〈材料・加工系〉

電子情報工学科 (入学定員 60人)

将来の技術革新を担う

エレクトロニクスの先端技術者を現代の技術革新や情報化を支えるエレクトロニクスや通信を対象に、次の専門分野の教育研究を行います。電子情報分野の基礎となる電子回路等を学ぶ〈電子系〉

人工知能の実現を図るコンピュータのハードとソフトを学ぶ〈情報系〉
豊かな情報化社会をもたらす通信ネットワークを学ぶ〈通信系〉
半導体集積回路等に用いられる機能材料の製法と素子設計等を学ぶ〈物性系〉

短期大学部

農業技術学科 (入学定員 70人)

「生物生産専攻」と「農業土木専攻」の二専攻を設け、細胞工学を中心とした生物工学や近代的な情報処理技術を取り入れるなど、時代のニーズに即した生物資源の生産や農村地域の総合的整備等に関する教育研究を行います。

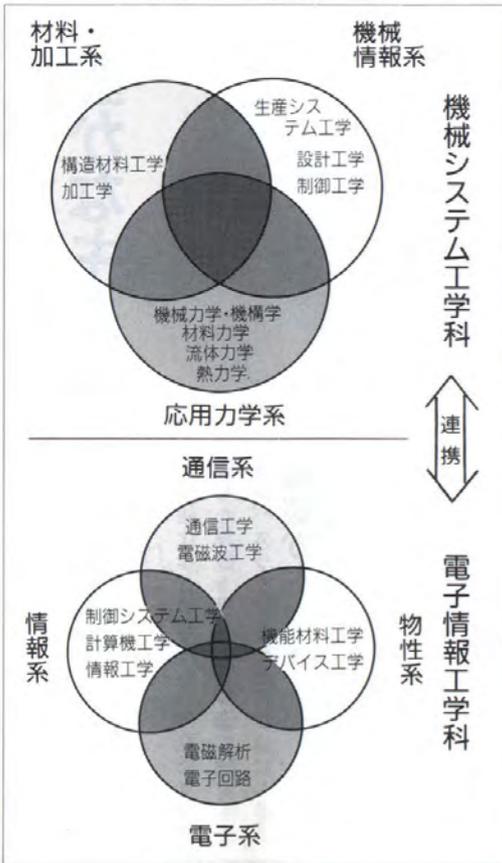
環境工学科 (入学定員 30人)

衛生工学科の水・大気環境保全に、新たに地域環境計画、産業廃棄物処理技術を加え、人間にとって、より健康で快適な環境を作り出し、維持するための開発、評価等に関する教育研究を行います。

大学院計画等

科学技術の急速な発展の中で、より高度な教育研究を展開するため、平成六年四月を目前に大学院修士課程を、引き続き博士課程を開設する予定です。また、近い将来、バイオテクノロジー関連学科の設置を計画しています。さらに短期大学部では、より技術を深めるため、専攻科の設置を計画しています。

工学部の専門分野



若い知性と 多様なニーズに応える教育研究

学問的基礎と広い視野、そして新たな発展に対応できる柔軟性を有する人材を養成します。

勉学意欲を高める カリキュラム

一年次から専門教育を提供する「くさび形カリキュラム」を採用したり、学問領域の拡大、相互補完を図るため、他学科の科目履修を可能にします。

創造力と実践力を涵養

豊かな教育経験を持ち、あるいは一流企業で活躍し、国際的な研究活動を展開している優秀な研究者、新進気鋭の若手研究者からなる教授陣を揃え、濃密な専門的教育を行います。また、基礎的能力養成のため、基礎教育科目の充実を図るとともに、実験・実習を徹底します。

アットホームな教育

一年次の教養ゼミ、二、三年次のコンタクトグループ、四年次の卒業研究など教員との人間的触れ合いを重視し、広い視野に裏打ちされた、技術に偏らない教育を展開します。

国際化、情報化への対応

学術研究の国際性から、国際会議でも活躍できるように外国語教育、特に英語教育を重視すると共に、パソコン百台余、*CAD五十台などにより、コンピュータを自由自在に使いこなせるように情報科学演習に力を入れます。
*CAD：コンピュータを利用した設計システム

確かな実力を身につけた 中堅技術者の養成

短期大学部では、確かな実力を身につけた視野の広い中堅技術者を養成するため、コンピュータ実習をはじめ、実験、演習などの実践的な教育を徹底するとともに、一般教育と専門教育との有機的な連携を図りつつ、人間形成を重視した教育を行います。



最適な創造空間で 豊かなキャンパスライフ

情報化などに対応し、機能的かつ充実した施設を整備し、快適で豊かなキャンパスライフを送れるようにします。
緑豊かな

インテリジェントキャンパス

*インテリジェント化など未来を志向し、優れた創造力を育むゆとりある空間となるよう、随所に教員と学生の交流の場や緑の憩いの場を整備します。

*インテリジェント化：情報通信機能の導入、施設管理機能の高度化、快適環境の創出、施設の多目的利用などに配慮し、高度情報化社会、生涯学習体系にふさわしい高い水準の教育、研究環境を整備すること。

最先端の

コンピュータシステムを完備

大型汎用機と高性能な支援機からなる最先端のコンピュータシステムを整備するとともに、LANを始め、各種ネットワークを構築することにより、世界の優れた研究者との通信を可能にします。

優れた情報基地……

図書館

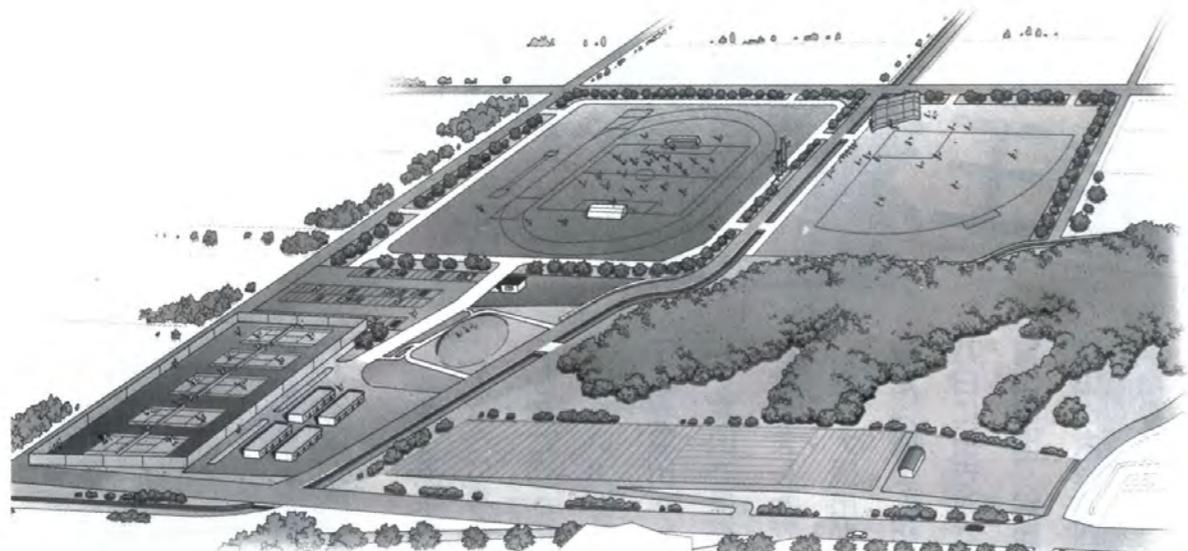
機能的でゆとりとした閲覧室（二百五十席）、最新の情報を容易に入手できるコンピュータ検索システム、独習を支援するAVシステムなどを持った図書館を設置します。

躍動のキャンパス

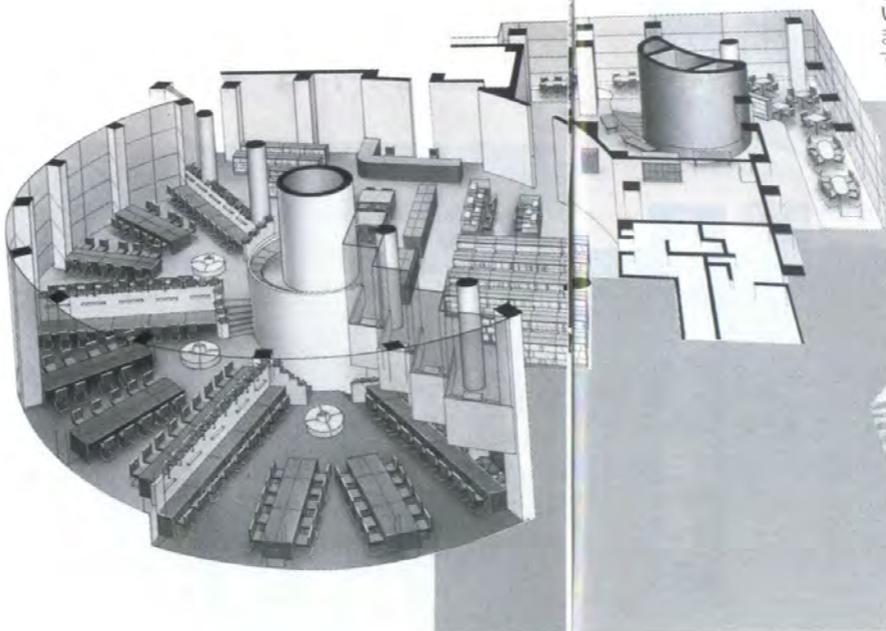
キャンパス内に七ヘクタールのビッグなスポーツゾーンを整備し、中には、四百メートルトラックや五面のテニスコート、サブグラウンドなどを設け、気軽にスポーツを楽しめるようにします。

ビッグな駐車場

六百台余り収容可能な駐車場を整備し、通学の車に対応します。また、整備された交通体系により、全国の主要都市から日帰りでアクセスでき、全国の学生や研究者等との交流も容易です。



スポーツゾーン



「頭脳集積とやま」の二翼を担い、 地域と歩む県立大学

富山県に新しい鼓動

地域の期待に応えるため、富山テクノポリスの中心に位置するなどの利点を生かし、学部・学科を超えた学際的研究、そして県の試験研究機関や企業との共同研究など、産学官共同に積極的に取り組んでいきます。

開かれた大学へ

県民の生涯学習ニーズに応え、公開講座の開設や、県民力レッジへの協力を行うほか、研究者などの図書館利用、グラウンドの開放などを行います。